

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: 全学交換留学

派遣先大学: 清華大学

卒業・修了後の就職(希望)先:

5.民間企業(業界:総合商社)

派遣先大学の概要

中国北京市内にある総合大学で、国家重点大学の一つ。

留学した動機

所属するゼミで金融政策を扱う中で、主要国の中で最も異質な中国金融に興味を抱いた。また、駒場時代から中国語を第二外国語として学んでおり、ネイティブと意思疎通が図れるレベルまで語学力を向上させたいと思っていた。

留学の時期など

- ① 学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 学部 [4]年の[夏]学期まで履修
- ② 学中の学籍: 留学
- ③ 学期間: 2014 年 9 月 ~ 2015 年 1 月 学部 [4]年時に出発
- ④ 学後の授業履修: 西暦[]年 学部/修士/博士[]年の[]学期から履修開始
- ⑤ 職活動の時期: 西暦[2014]年 学部 [4]年の[4]月頃に(行った)
- ⑥ 学での単位数: 留学前の取得単位[92]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[2]単位
留学後の取得(予定)単位[94]単位
- ⑦ 学・卒業時期: 西暦[2011]年 [4]月入学 西暦[2015]年 [3]月卒業
- ⑧ 学入学から卒業/修了までの期間: [4]年[0]ヶ月間
- ⑨ 学時期を決めた理由:
4年後期であれば就職活動、卒業に必要な単位取得を全て終え、国内でしなければならないことを全て完了してから留学に行くことができたから。

留学の準備

- ① 学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
日本国内で留学先の授業内容を手に入れることが非常に難しい。実際に留学希望校の希望学部で学んできた人とコンタクトをとり、現地の学習環境について話を聞くことが大事。
- ② ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
半年の留学のため、X2ビザを中国大使館にて取得した。手続きがやや煩雑なため、事前にネットで必要物を確認すること、申請必要書類が揃ったらすぐ申請に移ることが肝要。
- ③ 医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
特になし。ただし、半年以上の留学をする場合は必要。
- ④ 保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
AIU 生命の海外旅行保険に加入。指定はなかったが、保険に入ることは必須とされていた。
- ⑤ 留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
通常通年で単位認定がなされる少人数講義の単位を分割し、夏学期だけで認定してもらう申請を行った。
- ⑥ 語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
文学部で開講されている中国語の授業を履修した。
- ⑦ 日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
特にないが、みりんや味噌は現地ですぐに手に入りにくいので、現地で日本食を食べたい人は持って行くべき。英語または中国語のどちらかが出来れば生活に不自由はないが、両方できると履修できる科目が増え、友人の幅も広がり、現地生活が非常に充実する。事前に学習しておくことを強く勧める。

学習・研究について

- ① 履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。
●Financial Institution ・Financial Statement Analysis ・Chinese Speaking2 ・Chinese Speaking3 ・

② 学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

中国金融の様々なプレイヤーについて概説する授業を履修の中心に据えた。試験による評価が3割程度で、プレゼンテーションや積極的な授業参加、レポートなど、総合的に成績評価がなされた。

③ 学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

履修単位は13単位。授業の予習復習に毎日5~6時間かけた他、中国語の学習に週20時間程度は費やした。

④ 学習・研究面でのアドバイス

日本とは異なり、宿題の難易度が授業内容を上回り、それを生徒が協力して完成させるというスタイルだった。どの授業にも親切で熱心なTAがついているので、彼らに積極的に質問することが重要となる。

⑤ 語学面での苦勞・アドバイス等

現地についてから勉強を本格化させたため、本来の目的の経済の勉強をかなり圧迫してしまった。理想を言えば、日本にいる間にHSK6級を取得してから来ると、短い留学期間をより有意義に使える。

生活について

① 泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

学内の留学生宿舎に宿泊していた。申し込みが遅れた学生は割高で環境が劣る学外での生活を余儀なくされていたため、オンラインでの申請は早めに行うべき。

② 生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

大学内にスーパーや銀行、レストランがあるため、キャンパス外に出ずとも生活ができる。ただし、PM2.5のため霧のようなもやが立ち込めることも多く、マスクを常に携帯する必要がある。

③ 機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

安全面での懸念は小さいが、自分を含め盗難の被害に遭う学生も多かった。気温の低さと大気の悪さが相まって体調を崩す日本人留学生在が非常に多く(一学期に複数回崩す人が多数)、防寒、防塵対策が必須。現地に日本人向けの病院がある。

④ 留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

毎月10万円程度使っていた。(教科書・書籍代:1万円、食費:3万円、家賃:5万円、交通費と娯楽費:1万円)

・留学に要した費用総額とその内訳

70万円程度(上記の生活費×5か月、航空券代:10万円、保険:6万円、その他:4万円程度)

⑥ 奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

業務スーパージャパンドリーム財団、月額15万円×5か月、東大の留学関連のホームページで見つけた。

⑦ 学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

APEC期間の連休を利用し、中国5山として有名な黄山の登山に挑戦した。

派遣先大学の環境について

① 留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生オフィスはあるが、こちらから頼まなければ積極的にサポートを行ってはいくれない。現地の情報は日本人留学生など現地にいる日本人コミュニティから得るのが一番確実。

② 大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

総じてきわめてよい。複数の大きな図書館が年中無休で開いており、いつも学生に溢れ、活気に満ちている。食堂の数も非常に多い。体育館やプール、トレーニングジム、コンサートホールも学内にある。

留学と就職活動について

① (就職活動を既に行った場合) 留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

就職活動の後で留学に行ったため、特になし。

② (今後就職活動を行う場合) 留学が就職に対する考え方に与えた影響

同上。

③ 留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

現地でインターンに参加する日本人留學生は非常に多かった。また、語学研修やMBA留学で来ている社会人も多く、学生と社会人の垣根が日本よりかなり低い。社会の先輩から話を聞く機会が豊富なため、積極的にお話を聞きに行くことを強く勧める。

④ 就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

5. 民間企業(企業名又は業界: 総合商社)

留学を振り返って

① 留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

日本にいる時、日本で得た価値観は絶対的で、当然過ぎて意識すらしません。留学以前に持っていた日本と中国に対する認識は、「日本から見た」日本と中国に対する見方に過ぎないと気づかされました。その意味でも、世界と関わりながら生きていくことの重要性を実感した。

②留学後の予定

総合商社の社員として、日本と海外の橋渡しをする仕事を手掛けたい。世界が知らない日本と日本が知らない世界はまだたくさんあり、そのギャップを埋めることに邁進したい。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学期間は予想以上に短いです。留学先の生活はすべてが新鮮であれこれ挑戦したくなりますが、目標を一つに絞ることが重要です。一つのこと軸足を置き、たくさんの誘い・誘惑は取捨選択していくべきでしょう。加えて、清華大学は英語だけでも生活できますが、中国語が出来るのとそうでないので、入っていける世界が違います。日本にいた間に勉強し、HSK6 級レベルを達成してから留学に行くことを強くおすすめします。最後に、留学は母校をもう一つ作ること。最高に楽しいです。思い切り楽しんで！

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

清華大学日本人留学生会のブログ

③ その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

手元に学期中の出来事を写した写真がないので、写真の掲載はなしでお願いいたします。